



福島復興を応援する新しい八重桜 ‘はるか’ -多摩森林科学園で原木を公開します-

ポイント

- ・ ‘はるか’ は福島復興を応援するシンボルとして、大河ドラマ「八重の桜」に因んで命名された新しい八重桜の品種です。
- ・ 森林総合研究所多摩森林科学園では、今春 ‘はるか’ の原木を公開します。
- ・ あわせて「八重桜写真展」の開催と園内八重桜マップの配布を行います。

概要

福島県では地元を舞台とした2013年のNHK大河ドラマ「八重の桜」に因み、八重桜を新たな復興のシンボルとしています。森林総合研究所多摩森林科学園が育成していた新しい八重桜の品種が福島県に寄贈され、大河ドラマ主演の綾瀬はるかさんによって昨年12月に‘はるか’と命名されました。‘はるか’は今後長く福島復興を応援する事業に役立てられていきます。東京都八王子市にある多摩森林科学園では、今春 ‘はるか’ の原木を園内の「森の科学館」の前に植栽し、皆様にご覧いただきます。

あわせて、「森の科学館」の2階ホールにて「八重桜写真展」を開催して各地の美しい八重桜とその風景をご紹介しますとともに、‘普賢象’（ふげんぞう）‘楊貴妃’（ようきひ）など美しい20数種類の八重桜を解説した園内マップ（A3版両面カラー）を配布いたします。

多摩森林科学園のサクラ保存林は、我が国最大級のサクラの遺伝資源保存林で、伝統的な栽培品種や各地の名木などの接ぎ木クロンが収集され、約600系統、1,500本が植えられており、3月から4月下旬までの間は様々な種類の桜の花を楽しむことができます。

詳しくはホームページをご覧ください。<http://www.ffpri.affrc.go.jp/tmk/>

背景・経緯

新しい八重桜 ‘はるか’ は、多摩森林科学園のサクラ保存林にある ‘思川（おもいがわ）’ の種子を1999年に発芽させたものです。サクラ類の遺伝研究の材料として育成され、2004年に開花が確認されました。美しい八重咲きの花をつけたことから、2012年12月に農林水産大臣に新品種として登録出願しました。

遺伝子分析によると、‘はるか’ は、‘思川’（おもいがわ）と‘手弱女’（たおやめ）の交配したものと考えられており、野生種としてはマメザクラ、エドヒガン、オオシマザクラ、ヤマザクラの4種の関与が推定されています。

問い合わせ先など

独立行政法人 森林総合研究所 理事長 鈴木 和夫
森林総合研究所 多摩森林科学園 園長 吉丸 博志
広報担当者：森林総合研究所 企画部 研究情報科長 秦野 恭典
森林総合研究所 多摩森林科学園 普及広報専門職 菊池 忠行
TEL：042-661-1121 FAX：042-661-5241

本資料は、林政記者クラブ、農林記者会、農政クラブ、筑波研究学園都市記者会、東京都庁内記者クラブ、八王子市政記者クラブ、立川市政記者クラブに配付しています。



